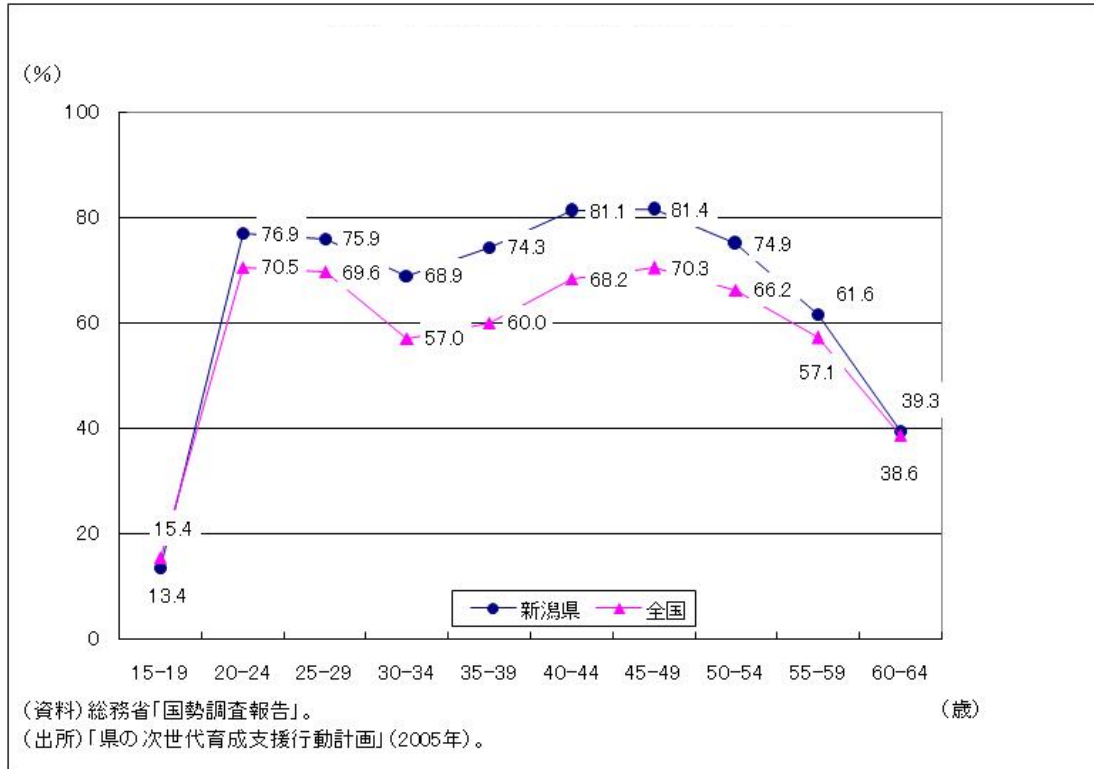


資料 1 2

年齢階級別女性労働力率（平成 1 2 年）



新潟県立大学における保育者養成に係るアンケート

新潟県

- 1 目的、方法 今後、必要とされている保育者について県内の幼稚園、保育園の設置者等の意見を把握するため、アンケート調査を郵送し、回収したもの。
- 2 調査日程 平成 20 年 8 月 15 日～8 月 22 日
- 3 調査対象者 保育園、幼稚園設置者 235 団体（設置している保育園数 702、幼稚園 160）
内訳 市町村 31 団体、国・県幼稚園 3 団体、
民間保育園設置団体 122 団体、民間幼稚園設置団体 79 団体
- 4 回収率 122 団体（設置している保育園数 519、幼稚園 109）
回収率 51.9% 内訳 市町村 27 団体、国・県立幼稚園 3 団体、
民間保育園設置団体 56 団体、民間幼稚園設置団体 36 団体
- 5 アンケート結果

(件数)

質問内容	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答	合計
新潟県が県立大学を設置して、保育者（幼稚園教諭・保育士）の養成を行う事を期待されますか？	115 (94.3%)	6 (4.9%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	122 (100.0%)
現在、一部でも幼稚園教諭免許と保育士資格の両方を取得したことを条件として職員の採用をしていますか？	44 (36.1%)	77 (63.1%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	122 (100.0%)
4年制大学の課程を修了した保育者（幼稚園教諭・保育士）は、今後、必要性が高まると思われますか？	100 (82.0%)	16 (13.1%)	1 (0.8%)	5 (4.1%)	122 (100.0%)
今後、保育現場で働くには、幼稚園教諭免許と保育士資格の両方を取得していることが望ましいと思われますか？	111 (91.0%)	7 (5.7%)	1 (0.8%)	3 (2.5%)	122 (100.0%)
保育園や、幼稚園が地域における子育て支援センターとしての役割を果たす必要性を感じていますか？	117 (95.9%)	4 (3.3%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	122 (100.0%)
日本語を母語としない保護者のお子さんが在園(所)していますか？	63 (51.6%)	59 (48.4%)	-	-	122 (100.0%)

回答のあった保育園、幼稚園に在園している子どもの総数 33,632 人 (100.0%)

うち、日本語を母語としない保護者の子ども 208 人 (0.6%)

新潟県の主な死因の死亡率、順位

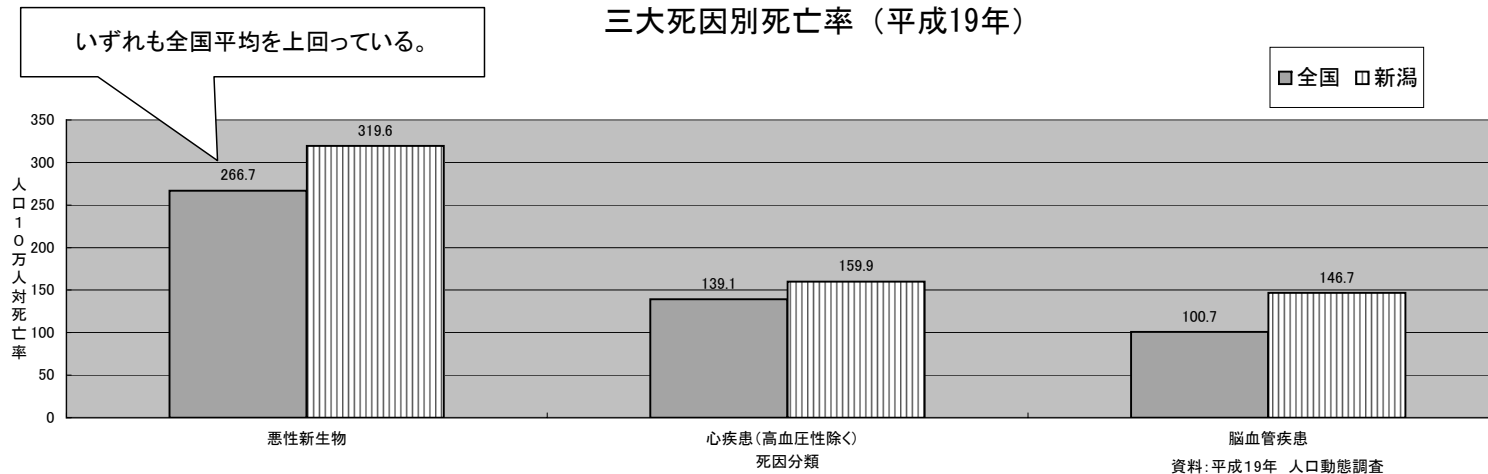
平成19年「新潟県の人口動態統計の概要」

悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、糖尿病の死亡総数に占める割合の合計は、60.8%となっている。

死亡順位	死 因	平成 19 年			全国順位	平成 18 年		
		死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡総数に占める割合(%)		死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡総数に占める割合(%)
第 1 位	悪性新生物	7651	319.6	30.5	8	7,278	302.2	30.4
2	心疾患	3827	159.9	15.2	18	3,641	151.2	15.2
3	脳血管疾患	3512	146.7	14.0	7	3,450	143.3	14.4
4	肺炎	2221	92.8	8.8	26	2,051	85.2	8.6
5	不慮の事故	1039	43.4	4.1	4	992	41.2	4.1
6	老衰	823	34.4	3.3	13	785	32.6	3.3
7	自殺	767	32.0	3.1	6	738	30.6	3.1
8	腎不全	409	17.1	1.6	32	394	16.4	1.6
9	慢性閉塞性肺疾患	324	13.5	1.3		300	12.5	1.3
10	糖尿病	286	11.9	1.1		285	11.8	1.2

出典：平成19年人口動態統計（概数）

三大死因別死亡率（平成19年）



新潟県の肥満傾向児の出現率

資料 15

平成19年度学校保健統計調査結果

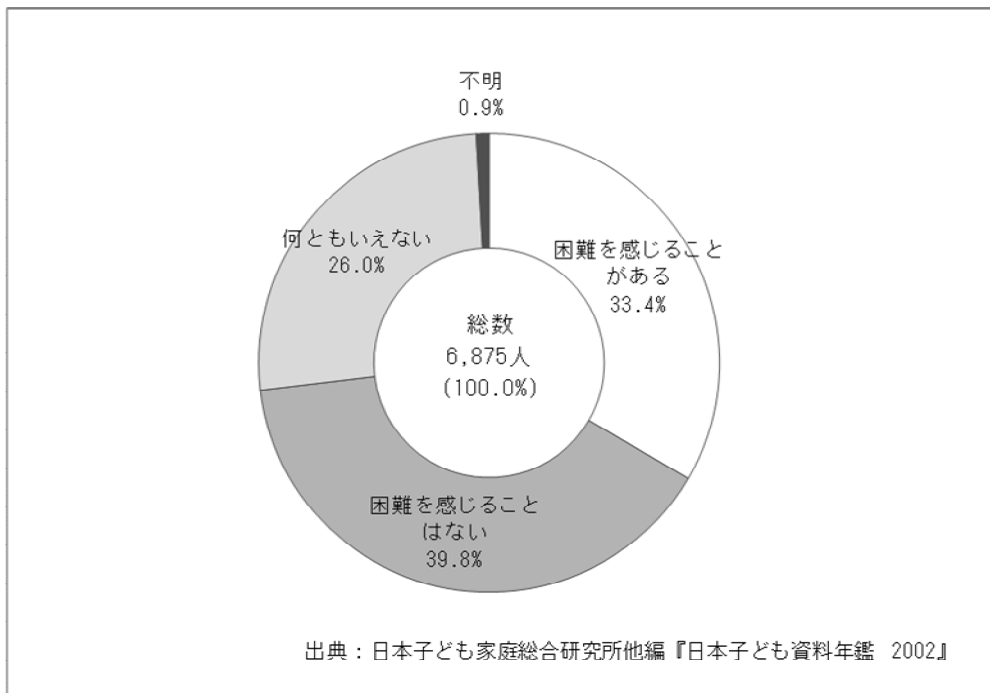
単位：%

区分		幼稚園	小学校						中学校			高等学校			
		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
男	平成18年度	本県	2.62	5.10	5.86	9.53	13.38	11.01	11.81	10.99	9.54	9.04	12.66	10.95	8.48
		全国	2.57	5.42	6.22	8.63	10.83	11.71	11.79	13.29	11.16	11.18	13.52	12.36	12.73
		差	0.05	△ 0.32	△ 0.36	0.90	2.55	△ 0.70	0.02	△ 2.30	△ 1.62	△ 2.14	△ 0.86	△ 1.41	△ 4.25
	平成19年度	本県	1.99	5.11	7.04	6.39	10.99	11.23	11.16	11.69	11.83	8.53	13.52	13.03	12.55
		全国	2.78	4.79	6.77	8.09	10.23	11.59	11.64	12.41	10.84	10.22	13.47	12.92	12.87
		差	△ 0.79	0.32	0.27	△ 1.70	0.76	△ 0.36	△ 0.48	△ 0.72	0.99	△ 1.69	0.05	0.11	△ 0.32
女	平成18年度	本県	4.25	5.19	6.30	9.16	7.52	7.66	9.63	8.00	6.86	11.15	9.69	8.34	7.65
		全国	2.96	4.71	5.84	7.42	8.55	8.63	9.79	10.16	9.42	9.22	10.06	9.47	9.65
		差	1.29	0.48	0.46	1.74	△ 1.03	△ 0.97	△ 0.16	△ 2.16	△ 2.56	1.93	△ 0.37	△ 1.13	△ 2.00
	平成19年度	本県	2.37	5.18	5.68	7.75	6.43	7.93	9.65	9.87	8.32	7.35	11.04	8.59	9.20
		全国	2.96	4.70	5.71	7.50	8.16	8.92	9.47	9.67	8.99	8.75	9.87	9.18	9.23
		差	△ 0.59	0.48	△ 0.03	0.25	△ 1.73	△ 0.99	0.18	0.20	△ 0.67	△ 1.40	1.17	△ 0.59	△ 0.03
計	平成18年度	本県	3.42	5.15	6.08	9.35	10.53	9.37	10.75	9.53	8.24	10.09	11.21	9.66	8.07
		全国	2.76	5.08	6.03	8.04	9.72	10.20	10.81	11.76	10.31	10.22	11.81	10.93	11.21
		差	0.66	0.07	0.05	1.31	0.81	△ 0.83	△ 0.06	△ 2.23	△ 2.07	△ 0.13	△ 0.60	△ 1.27	△ 3.14
	平成19年度	本県	2.18	5.15	6.38	7.06	8.74	9.63	10.42	10.80	10.12	7.96	12.28	10.85	10.90
		全国	2.87	4.75	6.25	7.80	9.22	10.28	10.58	11.07	9.94	9.50	11.70	11.07	11.08
		差	△ 0.69	0.40	0.13	△ 0.74	△ 0.48	△ 0.65	△ 0.16	△ 0.27	0.18	△ 1.54	0.58	△ 0.22	△ 0.18

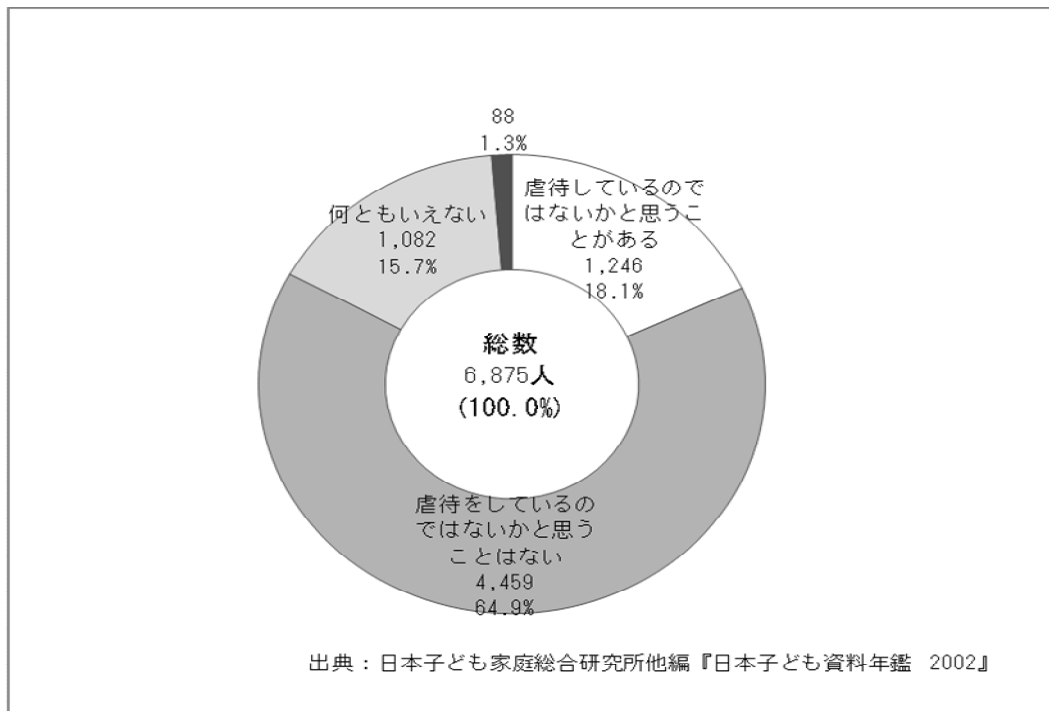
(注) 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。
 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)

育児に対する困難意識の有無

資料 16

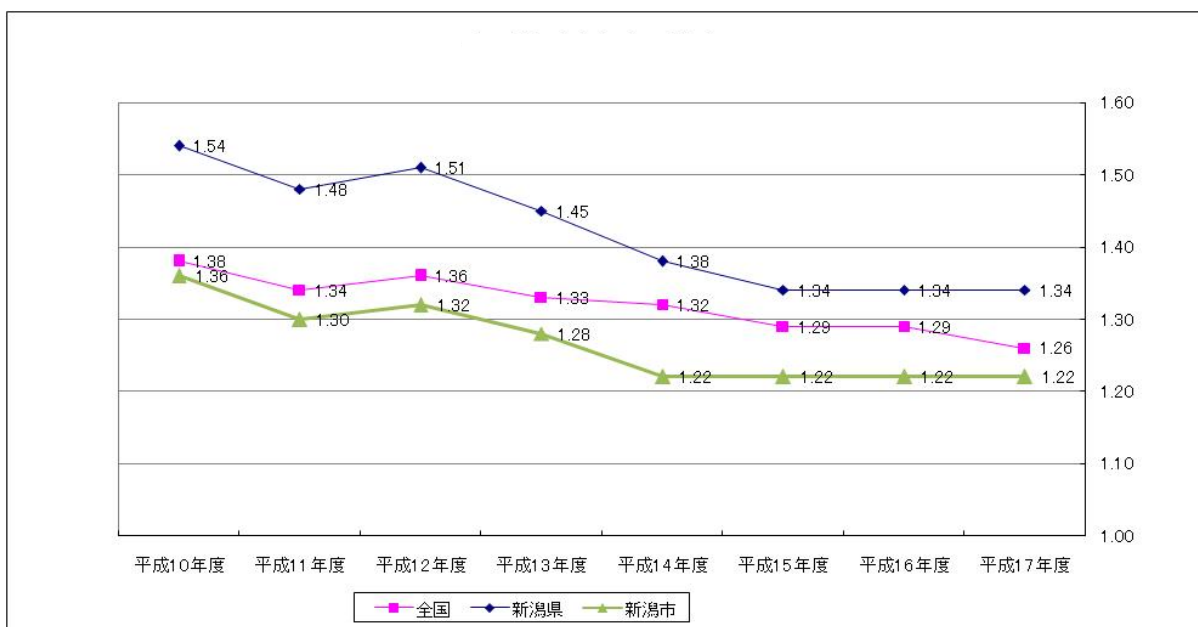


子どもに対する虐待意識の有無



合計特殊出生率の推移

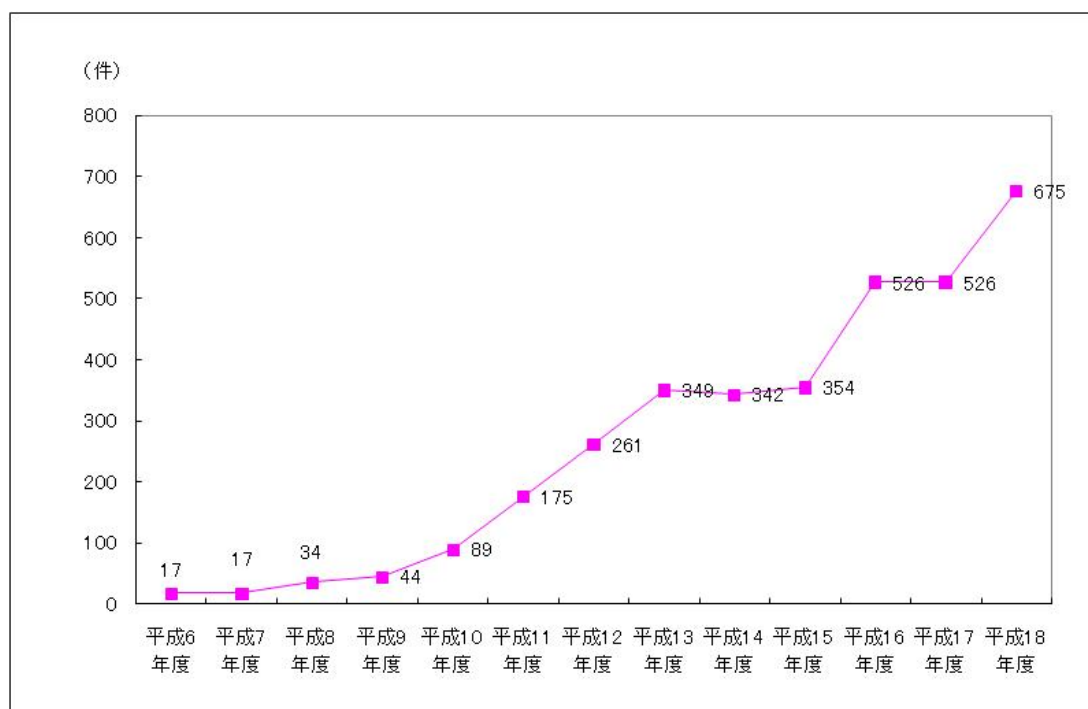
資料 17



資料：厚生労働省「人口動態統計」

児童虐待相談件数の推移（新潟県）

資料 18



資料：福祉行政報告例（厚生労働省）（児童相談所が処理した児童虐待相談件数）

子育てに関する悩みや不安の相談相手

